

「いま」を読み解く

# 海外と日本の 月経衛生対処(MHM)を考える

～性別にかかわらず活躍できる社会に向けて～

日時

12/10 水

10:30～12:00

会場

イーブルなごや

ホール (定員: 350人)

講師

日本福祉大学 教授

小國 和子さん

1969年大阪生まれ。千葉大学大学院で博士号取得(文化人類学)。国際協力機構(JICA)ボランティアを皮切りに、20～30代まで東南アジア農村での国際協力実務に従事。2008年より日本福祉大学 国際学部/大学院国際社会開発研究科勤務。

地域の独自性を生かした農村開発、日本農村での生活改善等の研究を行ってきたが、約10年前、インドネシアでの月経衛生対処(MHM)の実態調査にかかわったことをきっかけに、世界の月経対処に関心をもつ。その後、大学生と「月経を語ろうプロジェクト」の取り組みを行うなど、様々な性別や世代の人々と共に日本のこれからの月経教育を考える研究に取り組んでいる。



要約筆記・手話通訳つき

## 《託児の申込み》

開催日に満1歳から小学校入学前までのお子さん  
が対象。託児実費40円が必要です。

電話(052-331-5288)にて実施日の1週間前  
(締切日は17:00)までに先着順で受け付けます。

託児20人



<お問い合わせ先>

イーブルなごや

(名古屋市 男女平等参画推進センター・女性会館)

TEL: (052) 331-5288 FAX: (052) 322-9458

開館時間9:00～21:00(日曜・祝休日は～17:00)

ホームページ <https://e-able-nagoya.jp/>



イーブルなごや

〒460-0015 名古屋市中区大井町7-25

●地下鉄

名城線「東別院」下車1番出口から東へ徒歩3分

●市バス

金山26系統または昭和巡回系統「大井町」バス停前

※講座の中止及び・日程・内容・講師が変更になる場合があります。ご了承ください。  
※傷害保険等の設定をしておりません。必要な方は各自でご加入ください。  
※発熱などの症状がある方、体調不良の方は受講をご遠慮ください。